



東丘小だより



令和3年(2021年)7月7日発行 第7号

校長 大森恵子

学 年	1	2	3	4	5	6	計
児童数(7/7現在)	111	132	83	104	85	103	618



七夕ですね。

梅雨明けが待たれる気候です。先日の「引き渡し訓練」にはたくさんの方に参加いただき、ありがとうございました。

来週12日からは「個人懇談」を行います。時間は限られていますが、お子さまの成長をお伝えし、ご家庭でのようすを伺いたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

7月7日は七夕の日です。1年生の廊下にある笹には、子どもたちの願いごとを書いたたくさんの短冊が揺れています。みんなの願いが叶いますように。

SNS講習会(6月23日)「スマホやネットに潜む危険」

NIT情報技術推進ネットワーク 代表 しのはら かいち 篠原 嘉一さんより、多目的室

から各学級教室に向けてリモートで行いました。接続に制限があり、今回は残念ながら、児童のみの学習となりました。実際のゲームアプリの説明やネットゲームとの関わり方を教えていただきました。年齢制限の見分け方や危ないゲームの見極め方を教えてもらい、子ども達も興味をもって聞くことができました。

不特定多数の人が関わっているネットゲームやラインなどSNSによって個人情報が出てしまうことへの注意喚起や危険性についても事例を紹介してもらいました。

- ① ライン等SNSを使う時の具体的な設定方法や注意すべき点について
- ② ゲーム機や情報機器を安全に使うためのルールやマナー・モラル
- ③ アナログなコミュニケーションを大切にすること

たくさんの学びがありました。ネットの普及により、多くの方がSNS等を利用しています。「スマホやネットに潜む危険」は、どんどん加速、変化しているので、毎年、このような機会に知り、お友達や家族と一緒に考えることも大切です。誰でも人権侵害を犯してしまうリスクを持っていることを理解し、身近な問題だと再認識する必要があります。大人でも知らないことがたくさんありました。保護者の皆様も、子ども達にどんなことを教えてもらったか聞いてみてください。お子様とインターネットとの関わり方について話し合っただけならと思います。



避難訓練(地震・火災)・引き渡し訓練(6月30日)

各学級で訓練の前に子どもたちと一緒に学習をし、避難訓練を行いました。とてもスムーズに動いていたと思います。地震に限らず、火災や不審者など、年に3回は避難訓練をします。子どもたちが日頃から備えておくことができるように避難訓練では、次のような話をしました。

訓練ではなく、いつ、本当に大きな地震が来るかわかりません。私たちは、いざという時に【自分の命を自分でしっかりと守る】ことができるように、日頃から練習をしっかりと、避難するために必要な『本物の力』を身につけておかなければなりません。教室から出て運動場に整列するまで、「押さない、走らない、しゃべらない」というきまりを守ることができましたか。

自分の命を守るためには、大切な練習が【2つ】あります。

■ まず、1つ目は、『先生の話をしっかり聞く』ことです。先生の話は、目と耳と心で、しっかり聞く習慣を身につけておかないと、いざという時に慌ててしまい、大切な話や指示を聞きもらしてしまいます。

■ 2つ目は、『落ち着いて行動する』ことです。避難する時、慌てていると、階段でつまずいたり、友だちにぶつかったりして大けがをしてしまいます。

この2つは、どちらも、学校で授業中や休み時間に練習できることです。『自分の命』そして、『友だちみんなの命を守る』【本物の力】をつけるために、先生やお友だちと一緒に、毎日繰り返し練習していきましょう。



引き渡し訓練

引き渡し訓練では、保護者の皆様に大変お世話になりました。コロナ禍による蔓延防止対策が行われている中での訓練でしたが、皆様のご協力により無事に終えることができました。校内では、感染拡大防止のために一方通行にする等、細かなきまりもあって、何かと大変だったのですが、ルールを守ってくださったので、コロナ禍における訓練のあり方を私たち教職員も確認することができました。4年前の大阪北部地震の時には実際にご家庭の方に児童を迎えに来ていただき、引き渡しを行いました。学校へ避難されてこられた方もありました。災害はいつ起こるかわかりません。ですので、このような訓練を大切にしています。すべての子どもたちを安全に保護者へ引き渡すために、引き渡しのルールを共有しておくことが重要だと考えています。「災害発生時にどのような手段で連絡をするか」「どこに避難するか」等をご家庭でもお子さまと話しあってみてください。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

子どもたちにとって安全な学校であるために、本校では、次のような安全指導をまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1、登下校指導

保護者の皆さま、地域の皆さまには、「見守り隊」のボランティアの方々(「みどりのタスキ」を着用されています)を中心に子どもたちの登下校の安全確保にご尽力いただきありがとうございます。今後とも関係機関とも連携して子どもたちの安全を守ってきたいと思います。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2、避難訓練

火災や地震、不審者侵入などの場面を想定して、危険を素早く回避する訓練を実施いたします。「引き渡し訓練」実施の際はご協力をお願いします。

教職員にとっての避難訓練の目的は、「災害発生時に冷静な判断ができること」「適切な指示を出して子どもたちを安全に避難させること」「避難時の問題点を把握すること」等です。

子どもの命を預かる教職員には、いかなる状況下であっても冷静な判断力と的確な対応力が求められます。避難訓練を通して、どのような指示を出せば子どもたちが落ち着いて避難できるかをしっかりと確認しています。また、避難時の問題点を探り、より安全に避難できるよう改善に努めるのも訓練の重要な目的のひとつです。

3、安全点検

学校では教職員による遊具や施設の「安全点検」を定期的に行っています。しかし、子どもたちは、安全に生活しようと思ってもケガをしてしまうことがあります。ケガの状況によっては、保護者の皆さまへの連絡とともに医療機関での受診をお願いすることもあります。ご理解ご協力をお願いします。

4、通学路の点検

PTA生活指導委員会・地区委員さんにもご協力いただいて通学路の点検をしています。登下校時の際の交通安全面や不審者等の防犯面での気になる場所はないか点検し、教育委員会や関係機関等とも連携し、改善にむけて取り組んでいます。

※保護者の皆さまの来校時には、「ピンクのタスキ」を着用していただきますようお願いいたします。

※2学期には警察の方からの「交通安全教室」を行います。

